

上田に帰省中の9月19日、2014年4月に関東同窓会主催でその卒業制作作品(「くじらのまち」第34回ぴあフィルムフェスティバルグランプリ受賞作品)の映画上映会を開催した映画監督の鶴岡慧子さん(105期)の劇場公開デビュー作を上田映劇で見てきました。

上映後、鶴岡さんの舞台挨拶もありました。

上田では街のあちこちに映画のポスターが貼られ話題になりつつあるようです。

映画には母校の教室風景や上田近辺がふんだんに登場します。

9月25日付日経新聞夕刊の映画評欄では、古賀重樹編集員が「死の影と生の実感、鮮烈に、本格派の登場・・・。」と、見応えありの高評価をしています。

東京では渋谷のユーロスペースで公開中、今後上映館が拡大していくことでしょう。同窓生も応援をよろしくお願いします。

上原昇(65期)

【添付写真は舞台挨拶する鶴岡さん(左)と主演の木下美咲さん】

